

第4学年 国語科 年間学習指導計画

学期	月	単元名	教材名(小単元)	目標	配時		評価					言語活動 <言語活動例>		
					教材	単元	関意	話聞	書く	読む	言語		評価規準	
1 学期	4 月	1 音読しよう	こわれた千の楽器	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読する。	7		○				○	【関】物語を楽しんで音読したり、暗唱したりしようとする。 【読】物語から読み取った場面の様子や人物の気持ちがよく分かるように、工夫して音読している。	内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読する。☆ <音読発表>	
			図書館へ行こう	・図書館の配架と本の分類を知り、本の探し方を確かめる。	1		○				○	【関】本の探し方に興味を持ち、読書に親しもうとする。 【読】図書館の配架と本の分類を知り、読書に親しんでいる。	必要な情報を得るために、読んだ内容に関連した他の本や文章などを読む。C(2)オ	
			心の動きを伝えよう	・気持ちが伝わるように工夫して文章を書く。	4		○			○		【関】自分の気持ちが読み手に伝わるように文章を書こうとする。 【書】読み手に気持ちが伝わるように、心が大きく動いた部分を詳しく書いたり、気持ちを表す言葉を工夫して書いたりしている。	目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。☆	
			漢字の読み方に気をつけよう	・漢字の音訓や送り仮名について理解する。	2		○					○	【関】漢字の読み方に興味を持ち、音訓や送り仮名について知ろうとする。 【言】漢字の読み方の種類や送り仮名の働きを理解している。	
	5 月	2 説明のまとまりを見つけよう	ヤドカリとイソギンチャク	・段落と段落の結びつきを考えながら読み取る。	9		○					○	【関】ヤドカリとイソギンチャクの関係に興味を持ち、感想を出したり、まとまりどうしの結びつきについて考えたりしようとする。 【読】段落相互の関係に気をつけながら、内容やまとまりどうしの結びつきについて読み取っている。	中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読む。☆ <びっくり助け合いリーフレット>
			案内係になろう	・相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話す。	4		○	○					【関】相手の立場に立って、必要なことを伝えようとする。 【話聞】相手の質問に応じて、必要な内容は何かを考えて話している。	相手の目的に応じて、丁寧な言を用いるなど適切な言葉遣いで話す。☆
			漢字辞典の使い方を知ろう	・漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を知り、漢字の学習に活用する。	2		○						○	【関】漢字辞典の便利さに気づき、活用しようとする。 【言】漢字辞典の仕組みと三種類の索引の使い方を理解している。

6月	3 人物の変化をとらえよう	走れ	・中心となる人物に気をつけて、様子や気持ちを考えながら読み、感想を伝え合うことができる。	10	39	○				○	【関】物語に興味を持ち、楽しんで読もうとする。 【読】中心人物に着目し、人物の性格や気持ちの変化を読み取っている。	登場人物の気持ちの変化や情景などを想像して読む。☆ ＜中心人物ビフォーアフターカード＞
		メモの取り方をくふうして聞こう	・事柄と事柄の関連に気をつけて話を聞き、メモをもとに足りない情報について質問することができる。	4		○	○			【関】話の中の事柄と事柄の関連を正しく聞き取ろうとする。 【話聞】順序や理由を表す言葉に注意して聞き、事柄の関連が分かるように工夫してメモを取っている。	大事なことを聞き分けて、メモを取る。☆	
		ローマ字	・ローマ字の読み書きに慣れ、ローマ字で様々なものを書き表すことができる。	3		○				○	【関】ローマ字での人名・地名の表記や、ローマ字を使ったコンピューター入力に興味を持ち進んで活用しようとしている。 【言】ローマ字の表記方法を理解し、ローマ字で人名や地名を書いたり、コンピューターで入力したりしている。	
		みんなで新聞を作ろう	・取材したことを整理して、分かりやすい記事を書く。読み手の興味をひく書き方を工夫する。	10		○				○	【関】調べたことを新聞の形式で伝えることに興味を持ち、新聞作りに取り組もうとする。 【書】新聞の形式を知り、読み手の興味をひくように資料を選んだり、見出しを立てたりして新聞を書いている。 【書】分かりやすい記事になるよう、大事なことを落とさずに整理して書いている。	書こうとすることの中心を明確にし、整理して書く。☆ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ
7月		「ことわざブック」を作ろう	・ことわざや故事成語について知り、ことわざの意味を理解して使う。	6	○				○	【関】ことわざや故事成語に関心を持ち、意味などを調べて使おうとする。 【書】ことわざの意味に応じた具体例を挙げて書いている。 【言】ことわざや故事成語について知り、意味や使い方を理解するとともに、自分の表現で使おうとしている。	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使う。☆ ＜ことわざカルタ＞	
		本は友達	・読書への関心を高め、多様な本を読む。	4	○				○	【関】自分の興味にあった本を探し、読もうとする。 【読】読書案内や図書紹介を利用し、自分が読みたい本を読んでいる。	「四年生の本だな」や「きつとある君の心に残る本」を利用し、自分が読みたい本を選んで読む。☆	
	詩を読もう	ふしぎよかったなあ	・場面の様子を思い浮かべながら、詩を声に出して読む。	2	—	○				○	【関】楽しんで、詩を読もうとする。 【読】情景や作者の思いを考えながら、詩を読んでいる。	情景や人物の気持ちを想像して、それにふさわしい読み方を工夫する。☆

2 学 期	9 月	4 身の回りの文章を読みくらべよう	広告と説明書を読みくらべよう ・目的による表し方の違いを読み取る。	8	15	○			○	【関】目的による表し方の違いに興味を持ち、進んで読み比べようとする。 【読】広告と説明書の違いを、観点に沿って比較しながら読み取っている。	2つの文章を読み比べて、目的による表し方の違いを読み取る。☆
			文の組み立てを考えよう 漢字の練習 ・主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、文の構成をとらえる。	2		○			○	【関】主語と述語の関係や修飾・被修飾の関係に気をつけて文の構成をとらえようとする。 【言】主語・述語・修飾語それぞれの働きを理解し、主語・述語の関係や修飾・被修飾の関係に気をつけて文の構成をとらえている。	
			わたしの考えたこと ・伝えたいことの中心を明確にし、文章の組み立てを考えて書く。	5		○		○	【関】自分の考えを伝えるための文章を書こうとする。 【書】伝えたいことの中心を明確にし、組み立てを考えて文章を書いている。 【書】文章を読み返し、間違いを正したり、よりよい文章に書き換えたりしている。	文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。☆	
	10 月	1 感想を伝え合おう	ごんぎつね ・場面の移り変わりに気をつけて、人物の気持ちの変化をとらえる。	13	36	○			○	【関】物語を読み、人物の気持ちの変化をとらえようとする。 【読】叙述に即して人物の気持ちの変化を読み取っている。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。☆ <〇〇日記> <登場人物のビフォーアフターカード>
			ある人物になったつもりで ・絵に書かれた人物の立場からとらえた物語を書くことができる。 ・書いた物語を友だちと読み合い、気付いたことや感想を伝えあうことができる。	9		○		○	【関】絵をもとに出来事を捉え、想像を広げて物語を書くことに、興味を持って取り組もうとしている。 【書】絵に書かれている場面について想像を広げ、場面の様子を具体的に考えている。友達が書いた物語を読み、話の内容や展開、表現の仕方などについて、よく書けているところを具体的に伝え合っている。	絵から想像を広げて物語を書く。	
			文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう 漢字の練習 ・文と文を接続する言葉の働きを理解する。	2		○			○	【関】文と文を接続する言葉に興味を持ち、知ろうとする。 【言】文と文を接続する言葉の働きを理解し、使っている。	接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し、使う。☆

11月		クラスで話し合おう	・話し合いの基本的な進め方を知り、司会を中心にそれぞれの役割を果たしながら話し合う。	7	○	○			【関】司会の役割の重要性を知り、互いの伝えたいことを考えながら話し合おうとする。 【話聞】話し合いの進め方を理解し、互いの意見や考えを比べながら、理由をはっきりさせて話し合っている。	司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合う。☆	
		お願いやお礼の手紙を書こう	・目的に合わせて書くことを選び、依頼状や礼状などの手紙を書く。	5	○		○		【関】目的に合わせて、お願いやお礼などの手紙を書こうとする。 【書】形式をふまえて、目的に合わせて書くことを選び、相手に応じた言葉遣いで手紙を書いている。	目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙を書く。B(2)エ	
12月	2	くらしの中にある「和」と「洋」を調べよう	・何をどのように比べているかを読み取り、調べたことを目的に応じて、引用したり、要約したりすることができる。	12	14	○			○	【関】暮らしの中の文化に関心を持ち、進んで資料を探して調べたり、『くらしの中の和と洋』ブックを作ったりしようとする。 【読】まとまりごとの内容や対比されている事柄に注意して、短く要約しながら読み取っている。	目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章を引用したり要約したりする。 ☆ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章を書く。B(2)ウ
		同じ読み方の漢字に気をつけよう 漢字の練習	・それぞれの漢字には意味があることを理解し、同音・同訓の漢字を正しく使い分ける。	2		○				○	【関】同音・同訓の漢字に興味を持ち、読み方と意味の関係を知ろうとする。 【言】同音・同訓で意味の違う漢字があることを理解している。
		世界一美しいぼくの村	・家族やふるさとを思う心をえがいた、いろいろな本を読む。	13		○			○	【関】家族やふるさとをえがいた本を進んで読もうとする。 【読】場面の移り変わりに注意して読み、心に残ったところを表現している。	場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読む。☆ 目的に応じて、いろいろな本や文章を選んで読む。☆ ＜本のショーウィンドウ＞
1月	3	読書会を開こう	・言葉から想像を広げて、詩を作る。	5	21	○			○	【関】想像を広げて友達と一緒に連詩を作ろうとする。 【書】想像したことをもとに言葉を選んで連詩を作り、友達の作品の良さについて感想を伝え合っている。	言葉から想像したことを基に詩を作る。☆
		「百人一首」を声に出して読んでみよう	・短歌を声に出して読んで、言葉の響きやリズムを感じ取るとともに、情景を思い浮かべる。	3		○				○	【関】短歌について知り、五音と七音の組み合わせによるリズムに親しもうとする。 【言】言葉の響きやリズムを感じ取りながら短歌を音読し、情景を思い浮かべている。

3 学 期	2 月	4 わたしたちの生活とロボットについて考えよう	「ゆめのロボット」を作る	・二つの文章を関係づけて読み、考えたことを友達と伝えあい、自分の考えを深め広げることができる。	11	28	○				○	【関】人の役に立つ機械に関心を持ち、筆者の考えを参考にして自分たちの生活とロボットのかかわりについて考えたりまとめたりしようとする。 【読】筆者がどのような事実を理由や例として挙げ、願いや考えを述べているかを読み取っている。	中心となる語や文をとらえて、事実と意見との関係を考え、文章を読む。☆ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書く。☆
			漢字を使って読みやすい文を書こう 漢字の練習	・漢字と仮名の特長を知り、漢字仮名交じり文の利点を理解することができる。	2		○				○	【関】漢字と仮名に関心を持って文を読んだり書いたりしようとする。 【言】漢字仮名交じり文の特長を理解し、漢字を使って分かりやすい文を書いている。	
			報告します、みんなの生活	・調べたことを整理して、ポスターを使いながら順序よく報告する。	10		○	○				【関】ポスターを使って分かりやすく発表しようとする。 【話聞】ポスターを使いながら分かりやすく発表したり、聞き手の様子を見ながら話したりしている。	図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりする。A(2)ウ ＜ポスター発表＞
			目的や形式に合わせて書こう	伝えたいことに合わせて必要な資料を選び、伝える内容や形式を考えて文章を書く。	5		○			○	【関】伝える内容や形式を考えて文章を書こうとする。 【書】目的と形式に合わせて必要な資料を選び、伝えたいことを文章に書いている。	収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書く。B(2)ウ	
	3 月	5 音読げきをしよう	木竜うるし(人形げき)	・場面の様子や人物の気持ちが伝わるように、工夫して音読劇をする。	12	18	○				○	【関】読み取ったことを音読劇で表現しようとする。 【読】登場人物の行動や会話をもとに、登場人物の性格や関係などを読み取っている。	登場人物の性格や関係などを読み取り、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して音読劇をする。 ☆＜音読劇＞
			「言葉のタイムカプセル」を残そう	・1年間の思い出や未来の自分への手紙を書き、文集にまとめる。	6		○			○	【関】現在の自分を振り返り、考えていることを文章に書こうとする。 【書】1年間の思い出や未来の自分に伝えたいことを選び、自分の考えや気持ちを分かりやすく書いている。	書こうとすることの中心を明確にし、自分の考えや気持ちを分かりやすく書く。☆	